

授業概要

この講義では『平家物語』を読む。『平家物語』は、実際に起こった戦争を題材とする軍記物語と呼ばれるジャンルの作品である。そこに描かれるのは、激動の世に流されながら死んでいく人々のドラマと、登場人物の人となりや浮かび上がらせるエピソードの数々である。

授業では、人物に焦点をあてながら、『平家物語』およびその周辺作品からエピソードを紹介しつつ、いくつかの章段を読解する。『平家物語』がどのような力学によってストーリー展開しているのかを把握すると同時に、それぞれの人物の人となりや行動も読み取ってほしい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	『平家物語』の基礎知識①
第 3 回	清盛以前
第 4 回	平清盛①
第 5 回	平清盛②
第 6 回	平重盛・維盛
第 7 回	平経盛・忠度
第 8 回	以仁王・源頼政
第 9 回	木曾義仲
第 10 回	源頼朝
第 11 回	源義経
第 12 回	後白河院
第 13 回	『平家物語』と女性たち①
第 14 回	『平家物語』と女性たち②
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①古典文学への興味・関心を深める。
- ②『平家物語』についての基本的な事項について理解する。
- ③実在の人物が文学作品中に現れる時、それが〈歴史的事実〉と異なったものになっている点を理解する。

履修上の注意

古典についての知識が無くても問題ないが、作品に向き合ってもらうために指名して質問することがある。自分の意見を述べてもらいたい。

予習・復習

最終回の定期試験に向けて復習は怠らないように。

評価方法

質問に対する答えを含めた授業態度（20%）・筆記試験（80%）の結果で判断する。

テキスト

適宜プリントを配布する。角川書店編『平家物語 ビギナーズ・クラシックス』（角川ソフィア文庫）には全章段のあらすじが簡潔に記されているので、手元にあると便利。高橋昌明『平家の群像 物語から史実へ』（岩波新書）は、歴史学の方面から平家の人物を考察する。